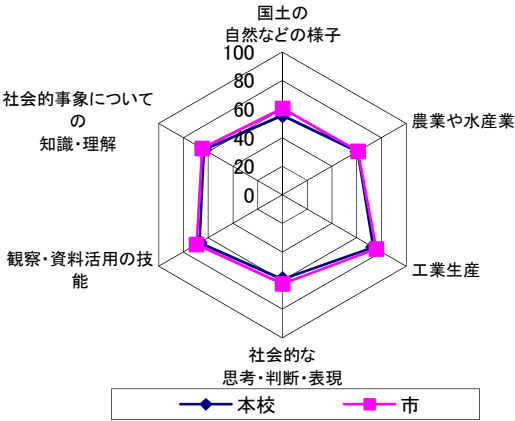


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	55.7	60.4
	農業や水産業	60.6	61.0
	工業生産	73.3	75.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	59.0	62.2
	観察・資料活用 of 技能	67.0	69.4
	社会的事象についての知識・理解	63.3	65.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	- 世界の主な大陸世界や海洋の名称と位置についてはほぼ理解している。しかし、日本の南端の島の位置について理解は不十分である。 - 日本の気候に関する資料について、弁別する力は不十分である。	我が国の国土の様子と国民生活との関連を図りながら、国土の位置や自然条件など資料等を考えられるような教材を準備し、指導していくことで、資料について弁別する力を身につけさせたい。
農業や水産業	- 日本の農業や水産業など、簡単な資料活用の技能は身に付いている。 - 日本の食料生産など、調べようとする課題に対して必要な資料を考察し、選択する力は、不十分である。	身近な社会とのかかわりの中で農業や水産業について直接ふれ合えるような場を設定することでさらに理解を深めていきたい。また、資料から人々に苦勞を読み取れる教材を準備し、指導していくことで、資料活用能力や考察力を身につけさせたい。
工業生産	日本の工業生産について、資料を読み取ることができるが、日本の食料生産に従事している人々の工夫や努力について、帰納的に考察する力は不十分である。	日本の工業生産や食料生産について作業的、体験的な学習や問題解決的な学習を一層充実させることにより、人々の工夫や努力等について、帰納的に考察する力を身につけさせたい。